

答申のことば

平成22年11月30日に第6次尾花沢市総合振興計画の策定について諮問を受け、第5次総合振興計画の評価、住民アンケート及び青少年アンケートの結果、また、まちづくり委員会及び地区別座談会のご意見等を踏まえ慎重に審議を重ねてきました。ここに尾花沢市の目指すべき将来像をもとに基本構想と基本計画として取りまとめましたので答申いたします。

尾花沢市を取り巻く情勢は、少子高齢化による人口減少、国際化や情報化、環境問題、地方分権など大きく変化しています。また、地域においても、人口の流出、コミュニティ活動の停滞、地域経済の低迷など厳しい情勢にあります。

地域に誇りと愛着を持って、いつまでも暮らし続けたいと思えるまちづくりを進めていくため、解決しなければならない課題が山積しております。

目まぐるしく変化する社会や経済情勢に的確に対応して、尾花沢の良さを失わず元気あるまちづくりを進めていくには、市民や企業・団体と行政がそれぞれの立場で役割を発揮し、互いの力を結集した協働の取り組みが必要不可欠であります。その意味で、市民と行政の協働の指針としての第6次尾花沢市総合振興計画の役割は非常に大きなものがあります。

尾花沢市の歴史・文化・産業・自然などの特性を生かし、本市の将来像「夢かがやき 絆でむすぶ 元気創造のまち 尾花沢」実現のため、全市民と行政が協働して未来に誇れるふるさとづくりを目指すよう期待いたします。

結びに、これまで総合振興計画の策定にあたりご協力をいただきました関係各位に心から感謝を申し上げ、答申のことばといたします。

平成23年3月



尾花沢市総合企画審議会会長
佐藤 敏也

発刊にあたって

これからの新たなまちづくりの指針となる第6次尾花沢市総合振興計画「元気おばなざわ創造プラン」をここに策定いたしました。

これまで、住民アンケートやまちづくり委員会、地域座談会などを実施し、市民の皆さまから多くの貴重なご提言をいただきながら、市民参加型の計画策定に努めてまいりました。また、総合企画審議会におきましては、各界各層の方々から計画の原案に対し慎重なる審議をいただきました。これまで、計画策定に関わられた多くの関係各位に対し、心から厚く感謝申し上げます。

本市ではこれまで、時代の情勢に対応するよう昭和38年策定の尾花沢市長期経済計画にはじまり、平成13年策定の第5次尾花沢市総合振興計画まで計画的に施策を展開してまいりました。しかしながら、依然として人口の流出が続くうえ、低迷する地方経済、地域コミュニティの停滞など安心して暮らし続けられる、持続発展可能なまちづくりが喫緊の課題となっております。

尾花沢には、豊かな自然や守り伝えられてきた歴史文化、そして温かな人間性があります。未来に残したいこれらの財産を新たなまちづくりの資源として、山積する課題の克服と個性と活力ある市勢の発展を進めていかなくはなりません。そのためには、市民と行政が力を合わせ、まちづくりに取り組んでいくことが必要であります。市民の皆さまにおかれましては、協働の指針として第6次尾花沢市総合振興計画をご活用くださることをご期待いたします。

本計画における本市の将来像である「夢かがやき 絆でむすぶ 元気創造のまち 尾花沢」を目指し、私も先頭に立ちながら全力を尽くしてまいります。市民各位のご理解とご協力をお願い申し上げ、刊行のことばといたします。

平成23年3月



尾花沢市長
加藤 國洋